会員近況・声

大前義次　茨城大学工学部情報工学科

大規模情報システムの設計・建設の仕事に長くたずさわってきましたが，早いもので大学へ移って3年半を経過しました．若い学生諸君と楽しい日々を送っています．大学での教育・研究分野は情報システム科学です．

これまでのシステムの建設を通して，設計で大事なことは，結局，ニーズやシーズにもとづいて徹底した目的研究を行ない，いかに良いシステムモデルを作るか，さらにそのモデルを通してこれから作り出されるシステムを事前に評価し，トップをはじめ関係者のコンセンサスをいかに得るかにあることを経験してきました．システム設計の基本は正にモデル化にありということです．

大学の教育において，ORの役割の重要さを大いに強調しております．また，過去の多くの情報システムの失敗例とそれから得られる教訓についてもレクチャーしています．これによって学生に興味をもたせ，問題の本質の理解に役立てようという考えからです．

これからの高度情報化社会の複雑なシステムの建設にとってORの重要性はますます増すものと考えます．会員の皆さんの御健闘をお祈りします．

山口美穂子

日本ユニバック(株)応用ソフトウェア1部経営科学1課

私の所属する経営科学1課は，統計・多変量解析・シミュレーションなどに関するソフトウェアを扱っており，プログラム開発・保守，客先システムサポートなどを行なっています．

最近は，経営計画シミュレータに関する仕事が多く，このシミュレータ（言語）のサポート，およびこれを用いた長期経営計画化モデルや経営情報システムなどの開発を行なっています．

数万行におよぶ大規模なモデルや帳表，グラフなどをあまりコンピュータの知識がなくとも短時間で作ることができるようになり，また従来のコンピュータ部門中心から業務担当部門へとコンピュータの利用が拡がり，逆に業務知識や経済の知識の必要を感じます．

会合記録 ①

編集委員会
（JORSJ）　10月6日(月)(6)
（OR誌）　10月8日(水)(9)
OA・会計合同委員会
10月17日(金)(7)
研究普及委員会　10月28日(火)(11)

入退会 ①

(61.3.25～61.4.21)

●入会（正会員）

飯島　淳一　東京工業大学
今澤　康多　日本ゼオン㈱
大津　浩二　出光石油化学㈱
大矢　誠一　㈱芙蓉情報センター
及川　清昭　東京大学生産技術研究所
嘉納　成男　早稲田大学
佐伯　親良　九州大学
桜井　慎一　日本大学
相馬　義一　名古屋短期大学
高橋　治久　豊橋技術科学大学
高梨　正彦　㈱群馬電子計算センタ
中森　義輝　甲南大学
平田　正敏　西南学院大学
本多　正久　産業能率大学
緑川　克巳　損害保険料率算定会
藪内　稔　学習院大学
山根　敬三　摂南大学

（学生会員）

郭　圭錫　東京工業大学
佐藤　潔　工学院大学
篠江　雄一　東京工業大学
竹原　均　筑波大学
舘　裕之　筑波大学
土谷　隆　東京大学
中谷　奈弓　金沢工業大学
仲山　雅一　東京理科大学
畑田　貴史　東京理科大学
日岐　浩和　工学院大学
松下　幸司　京都大学
山脇　達也　神戸大学

●退会（正会員）

小玉　陽一　横溝　彰

（賛助会員）

日本板硝子㈱
日本石油㈱
㈱芙蓉情報センター
横河ヒューレット・パッカード㈱

●移動（学生会員→正会員）

石井　伸一　北海道大学→㈱野村総合研究所
井上　良弘　防衛大学校→防衛庁
今井　浩　東京大学→九州大学
大島　茂　産業能率大学→(有)大島産業
澤田　清　神戸大学→三洋電機㈱
鈴木　哲　九州大学→日本ディジタルイクイップメント㈱
名取　純夫　東京理科大学→ソニー㈱
野津　伸治　広島大学→日本ユニバック㈱
細井　淳司　下関市立大学→センコー㈱

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．

水野　努　京都大学→
旭化成工業㈱
山川　栄樹　京都大学→
川崎製鉄㈱

入退会 ②

(61.4.22～61.5.13)

●入会（正会員）

相沢りえ子　㈱構造計画研究所
大島　諭　野村コンピュータシステム㈱
大西順一郎　芦屋大学
久保田光一　東京大学
宝崎　隆祐　防衛庁海上自衛隊
町田　欣弥　朝日大学
真鍋　敏雄　横河ヒューレットパッカード㈱

（学生会員）

石津　雅浩　武蔵工業大学
落合　浩之　武蔵工業大学
落合　誠　早稲田大学
久保　幹雄　早稲田大学
清水　信行　大阪工業大学
崔　鐘徳　早稲田大学
原　純一　武蔵工業大学
平山　哲治　波筑大学
藤岡　英博　大阪工業大学
山口　巧　早稲田大学
劉　麗文　名古屋工業大学

●退会（正会員）

中島　勝吉

●移動（学生会員→正会員）

清水冨士夫　東海大学→
㈱菱友システム技術
佐藤　潔　工学院大学→
松下電器産業㈱
矢口　範英　早稲田大学→
三菱電機㈱

入退会 ③

(61.5.14～61.7.1)

●入会（正会員）

猿渡　暢也　三菱鉱業セメント㈱
竹内　義之　千葉経済短期大学
横山　雅夫　放送大学
平田　仁志　出光石油化学㈱
宮本　昌明　日立プラント建設㈱
Zaid Balkhi　Dept. of Statistics college of Science
井戸川郷子　聖徳学園短期大学
石渡　淳一　日本鋼管㈱
岩崎洋一郎　九州東海大学
川北　米良　日本大学
黒田　達朗　京都大学
木場　久男　ジューキクレジット㈱
佐藤　修　東京経済大学
椿　広計　東京大学
富田　輝博　電力中央研究所
中野　秀男　大阪大学
西川　武雄　日本アイビーエム㈱
益田　耕作　日本電信電話㈱
峯村　道臣　㈱日本ソフトウェアサービス
迎　忠篤　日本アイビーエム㈱
山本　春美　日本電気㈱
山本　尚生　日本電信電話㈱
若尾　良男　東京経済大学

（学生会員）

竹村　学　豊橋技術科学大学
石原　学　明星大学
乾口　雅弘　大阪府立大学
江崎　和代　神戸商科大学
新森　修一　大阪大学
宋　宇　東北大学
畑野　高士　神戸商科大学
林田　英雄　神戸商科大学
弘中　御幸　神戸商科大学
ヘル・サントソ　神戸商科大学
丸田　英之　熊本大学
吉津　宗吾　神戸商科大学
吉川　武志　早稲田大学
秋沢　淳　東京大学

（賛助会員）

東京海上火災保険㈱
中小企業金融公庫
㈱東京美化学研究所

●退会（正会員）

市村　久恒　岡田　隆雄
小林　謙三　坂井　敏之
杉本　公二　武田　行松
竹村　伸一　寺井　元一
馬場　知己　坂内　祐一
松田　哲郎　前川　潤二

（学生会員）

中西　直也

（賛助会員）

関西交通機械㈱
日本電信電話㈱東海総支社

●移動（学生会員→正会員）

青木　義昌　早稲田大学→
日本電気㈱
石井　政雄　日本大学→
日本下水道事業団
木島　正明　東京工業大学→
東京工業大学
佐藤　慎一　金沢工業大学→
三菱電機㈱
土谷　幸久　創価大学→
創価大学
中島　徹　慶応義塾大学→
㈱学習研究社
長須賀弘文　上智大学→
㈱日立製作所
原　聡　早稲田大学→
㈱東レシステムセンター
船戸　清　名古屋工業大学→
名古屋市工業研究所
望月　俊一　上智大学→
富士写真フイルム㈱
渡辺　武雄　高崎経済大学→
鐘淵化学工業㈱

入退会 ④

(61.7.1～61.9.2)

●入会（正会員）

上原　義和　東京電力㈱
内野　明　横浜商科大学
川口有一郎　読売東京理工専門学校
高山　秀造　九州東海大学
谷崎　隆士　住友金属工業㈱
山口　啓一　新日本製鉄㈱
山本　秀男　日本電信電話㈱
山谷　弘幸　運輸省
吉井　博明　文教大学
松田　博　キャタピラー三菱㈱

（学生会員）

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会. 無断複写・複製・転載を禁ず.

伊藤　雅　広島大学
馬屋原敏博　防衛大学校
古藤　浩　筑波大学
庄司　文雄　横浜国立大学
鈴木　康介　東京工業大学
福田　有　慶応義塾大学
真木　高司　埼玉大学
宮首　英治　防衛大学校
吉川　和宏　上智大学
渡辺　和久　防衛大学校
PAULM. CANDELARIA
筑波大学

（賛助会員）
㈱データベース振興センター
日石情報システム㈱

●退会（正会員）
小田　千佳　高木　英雄
三宅　章彦

●移動（学生会員→正会員）
大内　幸雄　慶応義塾大学→日本電信電話㈱
篠田　心治　慶応義塾大学→成蹊大学
土谷　隆　東京大学→文部省
西岡　誠治　埼玉大学→建設省
藤井　一郎　早稲田大学→東海大学
松本　英之　産業能率大学→日本電気テレコムシステム㈱

●除名者

（正会員）
池田　誠
石川　徳衛
磯島　好彦
磯前　秀二
今吉　俊介
内山　義次
小沢　久美
佐々波秀彦
斉藤　洋一
佐野　猛
佐野　紳也
酒井　洋吉
芝崎　和孝
嶋崎　伸一
末木源一郎
鈴木　康司
鈴木　祥夫
田村　捷利
高木　弓東
高瀬　大捷
高橋　健二
辻　秀夫
鳥井　寛
仁戸田龍一郎
西江　誠
西村　直樹
西村　三世
西原　良治
久田　有
古川　博茂
牧　英樹
三宅　功
森田　道寛
柳原　一夫
柳原　正行
山田　洋一
青山　貞一
平島　真一
小栗　幸夫
田崎栄一郎
菊川　平三
黒田　一弘
水永与士夫
諸井　陽児
青野　元昭
佐治　享一
中村　初行
橋本　克之
稲田　啓佐
打浪　清一
小林　和夫
小坂　克英
佐々木重夫
高井得一郎
竹田　徹
中村　正弘
中谷　禧博
森田　昌宏
朴　仁洪
勝井　一雄
金子　準二
山下　明

（学生会員）
天野　明夫
木村　光男
鈴木　敦史
中村　保司
阪本　雅司
A.A.K.Majumdar
福田　敦

編集後記▶早いもので1986年も余す所わずかになってしまいました．ハレー彗星が近づく年は昔から不吉な年とされています．ふり返ってみますと，チャレンジャー事故，チェルノブイリ原発事故，ソ連原潜事故等，科学技術に対する警鐘が発せられた年であったように感じられます．科学技術の一端にかかわっているわれわれにとっても，技術を過信することなく謙虚な姿勢になることが必要だと思います▶迷信的な話をしたついでに来年の話をしますと，来年は四緑木星丁卯年であると暦の本に書かれています．卯とは象形文字で開門の形，新芽が2つに分れ，地上に出ている形であるといわれます．OR学会も来年は30周年という大きな節目を迎えます．その節目から新たな芽を出すにはふさわしい年であるように思います．本誌もより一層内容を充実させてゆきたいと思いますのでご期待ください▶12月，雅語的表現でいうと師走．語意，言葉の響きからいっても，なんとなく，あわただしい月です．空き巣，スリ等の犯罪も多くなる時期でもあり，読者の皆様も，くれぐれもご用心を！（S）

オペレーションズ・リサーチ

昭和61年12月号　第31巻（新シリーズ第11巻）12号　通巻312号
代表者　吉山博吉
発行所　社団法人　日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2—4—16　学会センタービル
（電話　03-815-3351～2）〒113
編集人　柳井　浩
発売所　株式会社　日科技連出版社
東京都渋谷区千駄ヶ谷5—4—2　〒151

定価　850円（郵送料含）年間予約購読料 9600円（郵送料含）

• 本誌のご注文は直接
日本オペレーションズ・リサーチ学会へ
• 本誌への広告お申し込みは明報社（571-2548），日経弘報社（563-2241）へ

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．